



説林

婦人と子ども發行に就て

高嶺秀夫

抑も最大多数の婦人の天職の歸着する所は賢母となりて其子を充分に育成するにあるなり。故に婦人が、年少の時より、學習する所のものは、すべて、此天職を盡さんがために必要なる準備とならざるべからず。

即、普通教科目を以て、其知見を擴むると同時に、特に生理、衛生、教育、心理等の要領に通じ、よく、之を應用して、以て兒童育成の大本を誤まることなからんことを要すべきなり。是を以て、又、凡そ一般婦人は之等諸學科の要領に通ずるとともに、更に又、育兒

に關する、實際的知識、實際的取扱の方法に熟達することは其天職を完全に盡す上に於て缺くべからざることに屬す。熟々、方今の狀況を考ふるに、大に教育を受くべき時代に在る年少女子及其監理者たるもの共に、虚飾的學習に時日を費すこと多くして、反つて、以上の要件を忽諸に附するが如き傾あるは、まことに慨歎の至といふべきなり。

以上の點より考ふるときは、婦人が賢母となるべき資格は、即、幼稚園の保姆となり得べき資格を備ふるに在りといふを得べきなり。凡そ保姆たるべき人の第一の要件は、子供を親愛するに在るなり。其親愛たるや、漠然、多数の幼兒に對して廣く之を愛し、之を親しむといふがごとき、博愛的のものをいふにあらずして、各個の子供に對して一人ごとに之を親愛することはいふなり、世には、兒童のアドケナキ自然の有様を

好み、余は、兒童を親愛すと自ら、唱ふる人も往々之あり、これ、もとより、保母たるに幾分の資格ある人といふべきも、單に稚き者を愛すといふのみにては、尙足らず、幼稚者の一人々々に對して、時々刻々、よく各個の兒童と親密友愛の同情を表し、常に之を愛憐することの感覺を與へて、兒童をして、各其保母を愛慕し日々保母の面を見んことを欲して之を其父兄に切望する程の愛情を兒童に發せしめて始めて、保母たる人の第一の資格を得たる人といふべきなり。

且又、保母は單に兒童の教師たるにあらずして、兒童の遊び相手なり。幼稚の園に遊戯して、知らず識らず自然に、其感化力を兒童の上に及ぼすものなり、故に保母の第二の要件は兒童の最嗜好する音樂に長じて、其唱歌其舉止其遊戯皆よく自然に音樂の調律に相和する如きもの多からんをのぞむなり。樂器の使用に

熟せず唱歌の技に通せずして唯に兒童の世話をなすのみを以て保母の任を全うしたりと思ふは大なる誤なるべし。此他、前に述べたる諸學科の要領に通すべきは云ふまでもなきことなり。

是を以て保母たるべき資格を備ふるは即ち母たるべき資格を備たるものと云ふべし。而して余は世の婦人に向ては、皆よく、幼稚園保母となりうべき準備をうけて、以て、賢母となり得べき資格を有せられんことを切望するものなり。

幼兒に課する唱歌遊戯の話

伊澤修二

考へて見れば、丁度、今より二十六七年前、明治七年頃、まだ我國に幼稚園と云ふものがなかつたのです。が、其ころから私は唱歌遊戯を起す必要を感じまして